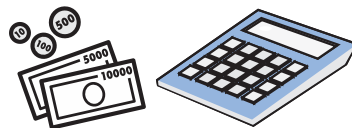


平成28年度決算 財務諸表を公表

財政課財政係 ☎(63)2151

平成28年度普通会計決算に基づく市民1人当たりの貸借対照表等の財務諸表についてお知らせします。



貸借対照表

道路や学校などの建物、預金等の資産が、どのような収入で賄われているかを表示しています。

市民1人当たり

資産・財産 134万円	将来の負担
道路や土地などの資産 128万9千円	借入金等 37万4千円
現金や預金等 5万1千円	これまでの負担
	国・県からの補助金や市税等 96万6千円

現在の道路などの公共資産に対する将来の負担が約3割程度(市民1人当たり37万4千円)残っています。将来の負担軽減のために、借入金の抑制や売却可能な資産の処分などを進めていきます。

行政コスト計算書

1年間、社会福祉や教育、ごみ収集などの行政サービスに掛かった経費と、保育料の支払いやごみ袋の購入など直接対価として支払った収入を対比して表示しています。

市民1人当たり

1年間に教育や社会福祉などの行政サービスに掛かった費用 33万3千円	受けたサービスに対して市民が支払った使用料や負担金など 1万9千円 不足する分31万4千円は…市税や国・県からの補助金、その他の収入で賄っています。
---------------------------------------	--

不足する分は、市税(市民1人当たり14万5千円)や地方交付税、各種交付金等の一般財源で賄われますが、それでも不足する分については、資産(基金等)の取り崩し等で賄っています。

純資産変動計算書

資産形成に要したこれまでの負担分が1年間でどのように変動したかを表示しています。

市民1人当たり

前年度末純資産		
道路や建物の建設などの資産形成のために負担した税金や国・県からの補助金		
合計 96万5千円		
公共資産等に充てた国・県補助金 22万7千円	公共資産等に充てた市税等 83万7千円	その他資産形成に負担した市税等 △9万9千円



当年度末純資産		
合計 96万6千円		
公共資産等に充てた国・県補助金 22万7千円	公共資産等に充てた市税等 83万8千円	その他資産形成に負担した市税等 △9万9千円

道路の建設事業などの公共資産等に充てた国・県補助金、市税等は、ほぼ横ばいとなっています。純資産全体では平成27年度末より1千円増加しました。

資金収支計算書

1年間の支出を3つの性質に区分し、それに対応する財源を収入として表示しています。

市民1人当たり

業務活動収支の部	
【支出】人件費、生活保護費や児童手当などの社会保障給付費、補助金等	29万9千円
【収入】市税、地方交付税、使用料手数料、臨時財政対策債等	34万7千円
業務活動収支額	4万8千円…A
投資活動収支の部	
【支出】道路等の建設費や貸付金	5万5千円
【収入】国・県補助金や貸付金元金回収収入等	3万1千円
投資活動収支額	△2万4千円…B
財務活動収支の部	
【支出】借入金の返済	3万3千円
【収入】借入金	1万1千円
財務活動収支額	△2万2千円…C
1年間の収支額 (A+B+C)	2千円
期首の現金残高	1万8千円
期末の現金残高	1万6千円

道路などの公共資産整備に要する費用や、借入金の返済などの約5割を業務活動収支の黒字分(市税、交付税等)で負担しています。